

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

令和四年八月度 入賞句一覽

投句数 千十六 句

特選

高木 恵理 選



夏の蝶いつも誰かがならぶ朝

加茂郡川辺町 藤井 俊輔 (中二)

夏の蝶は、アオスジアゲハのような大きな美しい模様の蝶ですね。そんな蝶の姿を目で追う人の姿が浮かんできます。また、日なたと日かげを行ったり来たりする蝶と人との取り合わせがとてもほのぼのとした風景をつくり上げています。夏の暑さを忘れさせてくれる爽やかな俳句として完成しています。

ばしよの葉風にふかれて葉をひらく

大垣市 森島 柚葉 (小六)

芭蕉の葉は、バナナにも似ている大きな葉ですね。夏が近づくと葉を大きく広げ、南国のような雰囲気をもし出します。ただ、芭蕉の葉は、葉脈に沿って破れやすいと言われています。そんな芭蕉の葉がゆつたりと風に吹かれて、大きな葉を開く様子は何と優雅に見えたことでしょうか。はかなさを秘めながらも、力強さも感じさせる句です。

太陽にひまわりの花近づくと

大垣市 桑原 璃名 (小三)

「ひまわり」は、「向日葵」と書いたり、「日輪草(にちりんそう)」という別名があったりします。両方に「日」という文字が隠れていますね。そうです。ひまわりは太陽の花なので、ひまわりを見ると、太陽のようなパワーをもらった気がします。ひまわりが、成長するにつれて「太陽に近づくと」と感じた作者の見方はとても素敵だと思います。

秀逸

芭蕉の葉やさしい風でゆれている

大垣市 高木 蒼矢 (小六)

雨に日にひとり輝くあまがえる

中津川市 川上 真葵 (中三)

夏祭り人混みの中探す友

中津川市 鈴木 ひより (中三)

蝸牛一日かけて帰宅する

加茂郡川辺町 櫻井 大也 (中二)

外に出てみんなそろってかき氷

加茂郡川辺町 酒向 律希 (中三)

風鈴の音になじんで眠る夜

加茂郡川辺町 川崎 愛心 (中三)

あさがおのつるがたくさんのびてくる

大垣市 ながい ひまり (小二)

すいかわりめかくししたよさあはじめ

大垣市 かき町 ふう花 (小三)

カブトムシ夜に動くよブンブン

大垣市 春田 鳳心郎 (小三)

このすいか大きな口で一かじり

大垣市 岩田 さら (小三)

入選

小中学生の部

あおばかげとおくをみつめひとやすみ

大垣市

岡安 煌(小六)

木の下で夏の日ざしに手をかざす

大垣市

森下 颯介(小六)

梅雨晴れ間まぶしい光目をとじる

大垣市

薮 寛人(小六)

ばしよの葉空に向かつて広々と

大垣市

和田 亜弓(小六)

ばしよの葉まいてのびゆく日が照らし

大垣市

間内 柚那(小六)

カブトムシきょうもげんきにあるいてる

大垣市

小川 旭陽(小二)

弟とかまきり見つけおいかけ

大垣市

陸田 篤希(小四)

あまがえる鳴いた夜にきく雨の音

中津川市

仲矢 幸弘(中三)

すいか割り棒でさぐつて大当り

加茂郡川辺町

佐伯 衣織里(中二)

友達と汗かきながら部活動

加茂郡川辺町

安江 凜音(中二)

かぶと虫つのいつみてもかつこいい

大垣市

つじ あおと(小二)

ミニトマトたくさんできてたべきれず

大垣市

ざお へにん(小二)

あさがおはハートみたいなのはつぱだよ

大垣市

ひびの いおり(小二)

夏休み太陽の下おにごっこ

大垣市

日び野 有き(小三)

かぶとむし木のみつすつていきている

大垣市

立川 れみ(小三)

かきごおりシロップ全ぶのんじやった

大垣市

あべ あんじ(小三)

はなびでておおきい音で目がさめた

大垣市

内藤 みさき(小三)

青空に入どう雲がでてきたよ

大垣市

西科 とも生(小三)

なにしようよていをきめてなつやすみ

大垣市

よこやま れんせい(小三)

夏の外雨がきらきら光ってる

大垣市

松岡 拓(小六)

選者吟

向日葵や海まで続く千枚田

恵理

